



## 令和6(2025)年度 公益財団法人櫻谷文庫 事業計画

### 基本的考え方

櫻谷文庫は、木島櫻谷の居宅である和館、洋館、画室の建造物および櫻谷作品、習作、写生帖等、櫻谷収集の書画書籍類などの収蔵品からなる。また、建造物3棟は、国登録有形文化財、京都市景観重要建造物、京都市指定有形文化財に登録、指定されている。収蔵品については、櫻谷作品、習作、写生帳や画材、手紙類など櫻谷の制作に関わる資料類、さらに櫻谷の収集した中世から近代にかけての陽明学朱子学関係日本画関係書画、詩文集、書籍、典籍や、近代美術関係資料など一万点以上からなる。建造物、所蔵品の一般公開・展示、収蔵物資料等の調査、整理、データベース化のため、建造物の維持修復、収蔵品等の維持、修復、調査、研究を進める。これらにより、近代建築史、美術・美術史、芸術の振興、学術研究への寄与、京都市を含む地域振興をめざす。また隣接する学校法人ヴィアトール学園等と連携し、教育活動の推進のため協力、支援をすすめる。

### 公益目的事業

#### (1) 春の櫻谷文庫公開展示 (独自)

・2024年4月6日、7日に「今年は辰年。桃の節句 端午の節句」公開・展示。

期間 2024年4月6日(土)～4月7日(日)の土日(2日間)

公益収入 72,000円

(内訳) 入場料 600円×60人/日×2日=72,000円

公益支出 72,000円

(内訳) 人件費 2日×5人×6,500円=72,000円

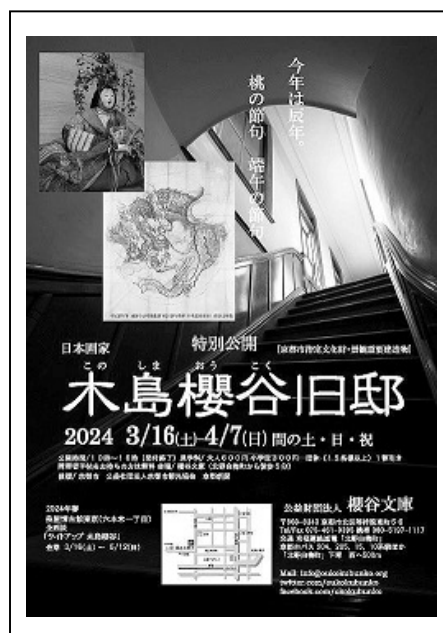
事務用品費 3,000円

印刷費 4,300円

通信費 2,000円

旅費交通費 1,000円

雑費 1,000円





・2025年3月15日から3月30日に「桃の節句 端午の節句」公開・展示。

期間 2025年3月15日(土)~3月30日(日)の土日(7日間)

公益収入 252,000円

(内訳) 入場料 600円×60人/日×7日=252,000円

公益支出 252,000円

(内訳) 人件費 7日×5人×6,500円=227,500

事務用品費 10,500円

印刷費 15,050円

通信費 7,000円

旅費交通費 3,500円

雑費 3,500円



## (2) 櫻谷文庫の随時公開1. (独自)

京都市文化財マネージャー育成講座、立命館大学文学部京フィールドワーク講義、立命館大学アトリサーチセンター、京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科建築造形学部門演習など教育・研究への協力、併せて京都市 MICE 推進事務局に連携し、映画、テレビドラマロケに協力する。

公益収入 30,000円

(内訳) 大学講義演習関係 10,000円 文化財マネージャー育成講座 10,000円 他映像制作協力関係 10,000円

## (3) 櫻谷文庫の随時公開2. (独自)

随時公開については、グループ、団体等との時間調整の上実施する。

公益収入 10,000円

## (4) 櫻谷文庫収蔵品の調査・整理デジタルデータベース化 (共同)

2010年から開始した収蔵品の調査は、櫻谷作品類、軸類、書籍の一部を2010



年 2011 年に実施した。2012 年から写生帖 600 冊余、スケッチブック 200 冊余の全ページの調査は 2018 年に完了し 2023 年には一部について写生帖 デジタルデータベースが公開された。2019 年から書簡類の調査、スキャンングを開始した。概ね完了。本年は以下につき、泉屋博古館本館が改修工事で 2025 年春まで休館となるため、デジタルスキャンング等は櫻谷文庫にて実施する。泉屋博古館実方葉子学芸部長、櫻谷文庫業務執行理事門田節の 2 名で実施する。

- ① マクリ、下絵類
- ② 書簡等 数千点以上の書簡類等の整理、調査、スキャンを継続する。
- ③ 櫻谷葬儀関係書類

#### (5) 収蔵物、建築物の修復保全等（独自）

- ① 収蔵物、和館、洋館、画室の随時修理
- ② 和館、洋館、画室の機械警備および消火設備点検

京都市補助金収入 107,000 円

セコム支払い 227,040 円

内訳（132,000 円（機械警備）、95,040 円（自動火災報知機設備点検））

#### (6) 地域、美術系、学術教育、メディア連携と櫻谷文庫情報の拡散（独自）

等持院地域の観光スポットとの連携、衣笠地区の堂本印象美術館他美術系法人、地域の北区役所地域力推進室まちづくり推進担当、立命館大学、等持院、真如寺、平野の家わが永々棟他との連携、京都への来訪者の多い首都圏での PR 強化のため京都市東京事務所、京福電気鉄道、JR 西日本京都交流推進委員会、JR 東海京都・奈良・近江文化情報事務局、京都市観光協会（京都駅観光総合案内所を含む）、京都新聞、KBS 京都、NHK 他との連携、情報提供を強化する。既存メディアだけでなく Facebook、X（旧 Twitter）等の活用、継続的情報発信による情報拡散を図る。

#### (7) 所在不明の櫻谷作品の所在調査

所在が不明の「涼意」、「うまや」、「港頭の夕」、「孟宗藪」、「松籟」、「獅子（えもの）」について所在調査を継続する。

#### (8) 木島櫻谷の墳墓の維持管理を実施する

### 収益事業等

画家入佐美南子氏（嵯峨美術大学名誉教授 油絵 二科会理事）の主宰する絵画教室に



画室をアトリエとして、また地域在住者を主な対象とする整美体操教室（講師：井上敦子氏）に旧画室を教室として提供する。その他の事業として学校法人ヴィアートル学園との連携による教育支援活動を行う。洋画家浜哲郎氏に制作室として提供していた和館の一部について、教育、地域、美術芸術関係の活用を検討する。